

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年8月25日
【事業年度】	第124期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)
【会社名】	オーベクス株式会社
【英訳名】	AuBEX CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大竹 信 行
【本店の所在の場所】	東京都墨田区錦糸一丁目2番1号
【電話番号】	東京(3625)3151(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 野 北 明 臣
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区錦糸一丁目2番1号
【電話番号】	東京(3625)3151(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 野 北 明 臣
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月25日付をもって提出いたしました第124期事業年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)有価証券報告書の記載事項の一部について訂正を要する箇所がありましたので、これを訂正するために有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

7 財政状態及び経営成績の分析

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

7 【財政状態及び経営成績の分析】

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

(訂正前)

キャッシュ・フローの状況につきましては、「第2〔事業の状況〕 1〔業績等の概要〕 (2)キャッシュ・フローの状況」に記載のとおりであります。

(訂正後)

キャッシュ・フローの状況につきましては、「第2〔事業の状況〕 1〔業績等の概要〕 (2)キャッシュ・フローの状況」に記載のとおりであります。

また、当報告書の「第2 事業の状況 4 事業等のリスク」に記載のとおり、借入金にかかる財務制限条項がありますが、第125期(平成21年度)では、役員報酬の減額及び賃金のカットを主体とした全面的な経費の大幅な削減を実行し、収益の改善を図ります。また、たな卸資産の圧縮及び設備投資の抑制を行うことによりキャッシュ・フローの改善を図ります。これらの収益改善計画をシンジケートローンの参加金融機関に対し確実に実行することの説明を行い、全貸出人から期限の利益喪失の請求を行わない旨の同意を得ましたので、資金繰りの問題は生じておりません。